

① A、B、C を太線で切り取る。

② A は顔と体を書いています。C は手です。色を塗る。

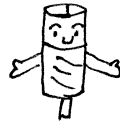
③ A を丸めてのり付けする。



④ B を のり付けした部分にセロハンテープでとめる。(上の部分のみ)



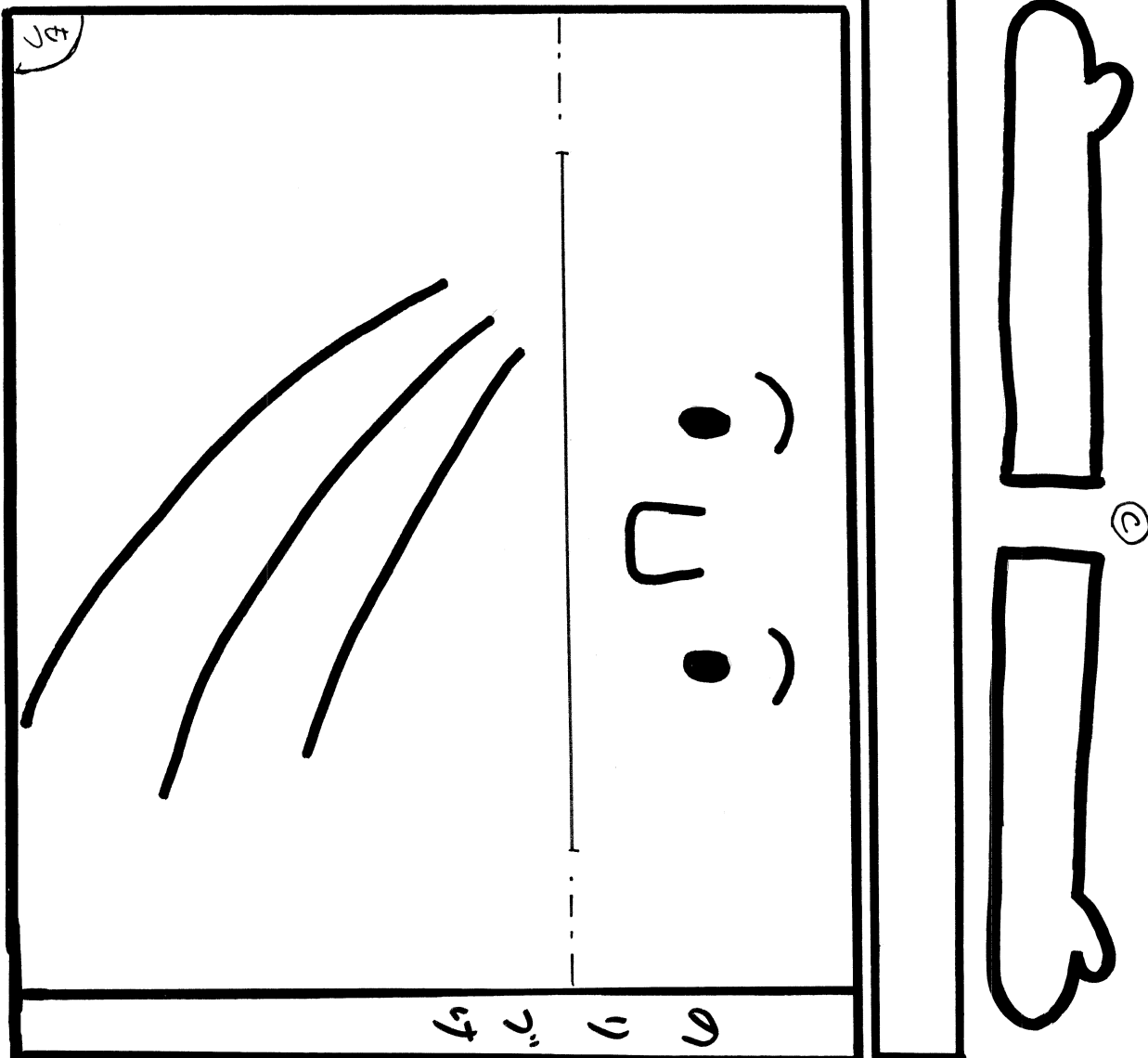
⑤ C をセロハンテープでとめる。

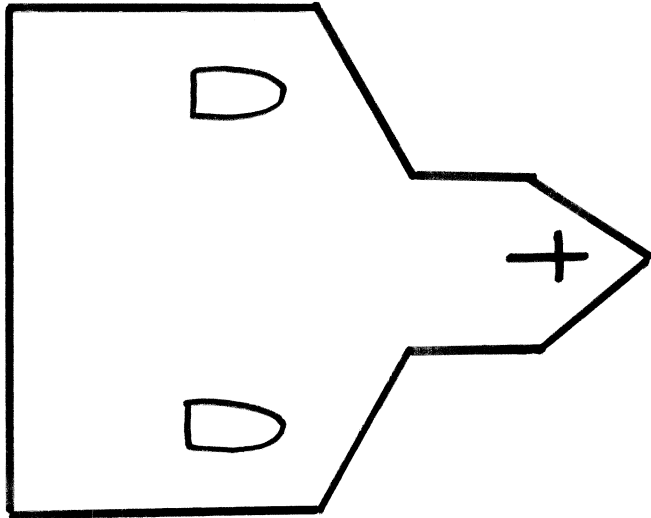


⑥ できあがった所に折り込みを入れる。――を谷折りにする。  
難しい場合は先に折り込みを入れておく。

⑦ A のもつと書いてある所をしっかりとつかみ


B を下に引きはいてしゃべりようにする。



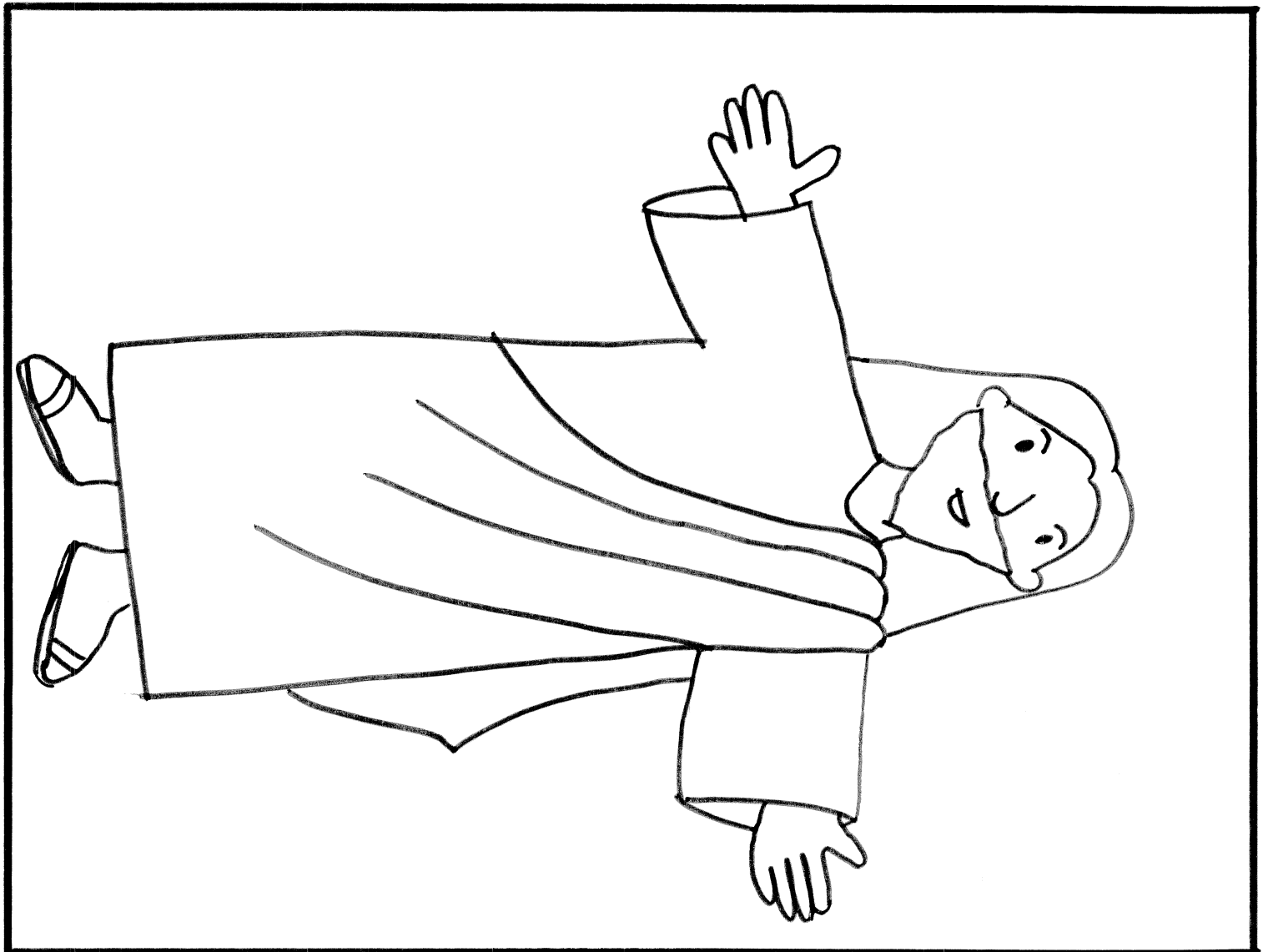


① 壁かけにしまひ。

② 教会の空白部分に自分の顔を書く。

③ 太線で切り取る。 

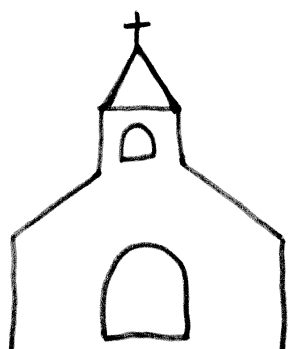
④ 教会をイエス様の足の位置には貼る。



A

2011 10 月 16 日

いえすさまのねがい



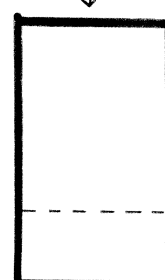
①

わたしはよのひかりである。

ヨハネ 8・12

- ① 下のコマに色を塗る。  
自分の顔を書く。
- ② 太線で切り取り、
- ③ じゃんけんゲームをします。  
人数が多い時は、①を横に並べて  
行います。必ずイエス様を使います。
- ④ イエス様対 ヤコブ・ヨハネ の自分の顔を  
戦う。
- ⑤ じゃんけんして勝つと1マス進む。しりし。  
イエス様より先にゴール（教会へ到着）  
すると負け。

自分の顔を書く



スタート

スタート

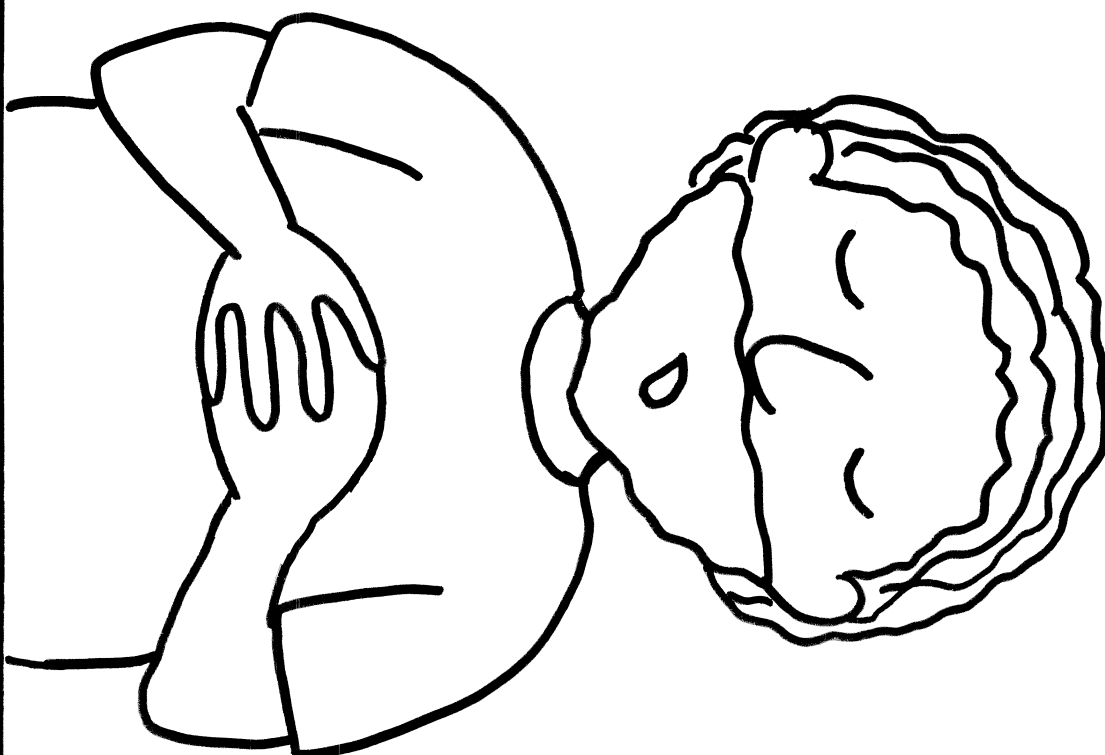
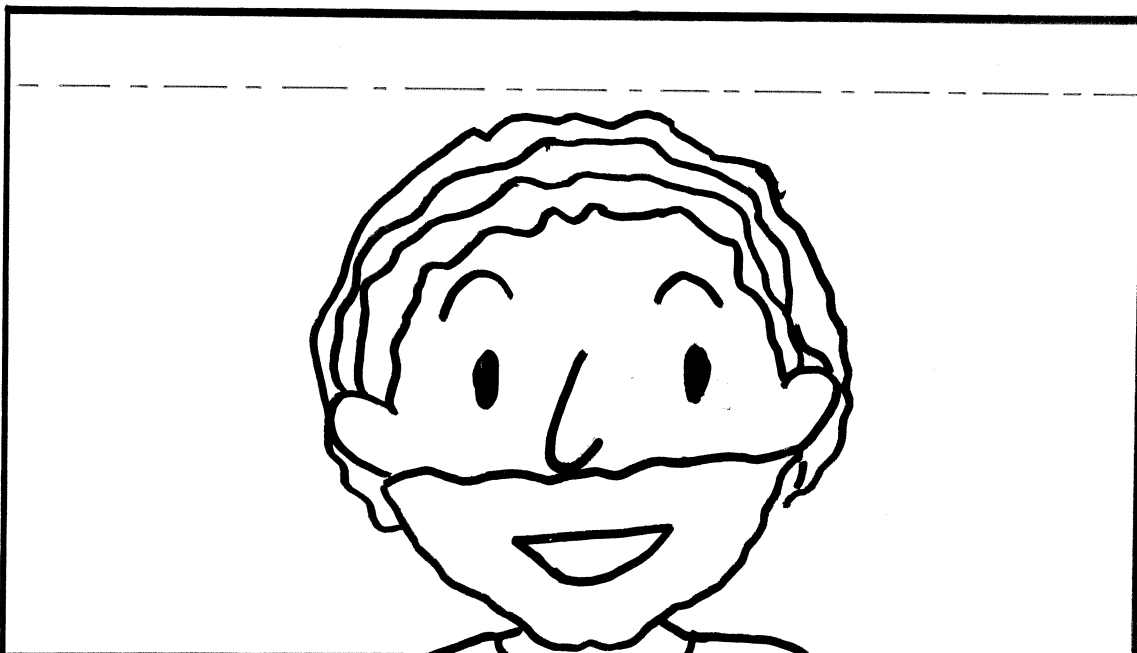
**A** 2011 10 月 23 日 しんじていのろう！

- ① 太線で切り取る。
- ② 絵に色を塗る。
- ③ ④の上部空白に今日のひとことを書く。穴をあけて壁かけに  
してもいい。

わたしはよのひかりである。

ヨハネ 8・12

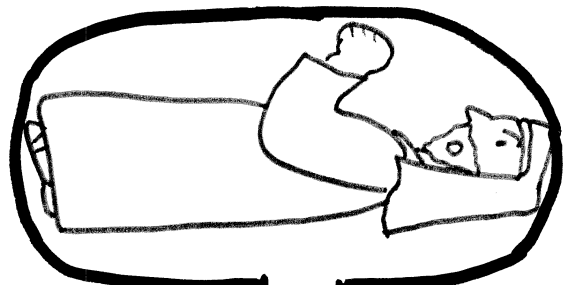
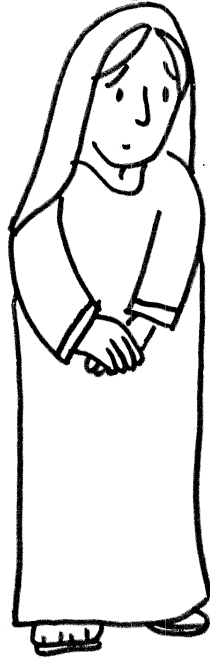
- ④ ⑤の---を  
谷折りにし、④の  
のりづけ部分に  
つける。



のりづけ

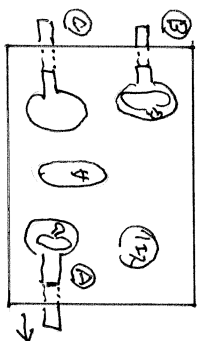
わたしはよのひかりである。

ヨハネ 8・12

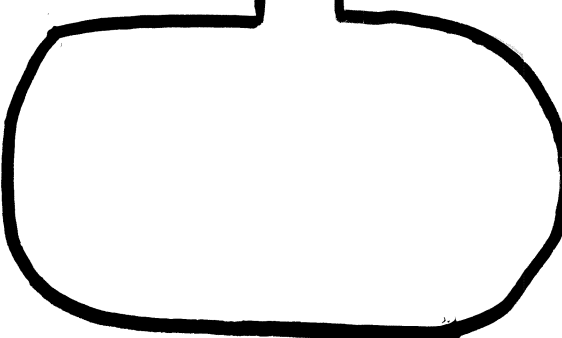
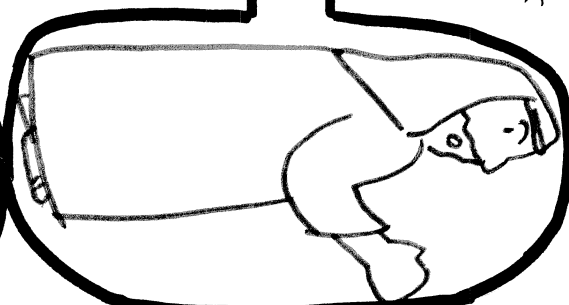


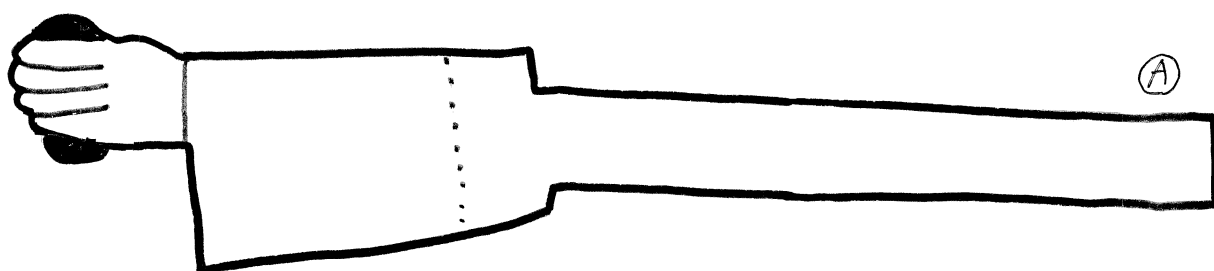
- ① 太線でとり取る。
- ② 色を塗る。
- ③ ②に自分を置く

- ④ 本体、太線に切り込みを入れる。
- ⑤ 下の図のように  
A、B、Cを  
切り込みに  
差し込む



- ⑥ 太線より太線より引いて、  
再組み立てる。





- ① 太線で切る。Aを外枠に当て取り取る。
- ② 色を塗る。
- ③ 本体のイエス様、袖の太線に切り込みを入れる。
- ④ 切り込み部分にAを点線まで差し込む。
- ⑤ イエス様が目に泥を塗るようにAを動かす。

—— 切り取り線

----- 谷折り線

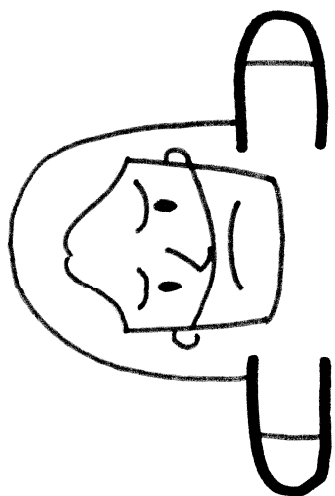
A

のりしろ

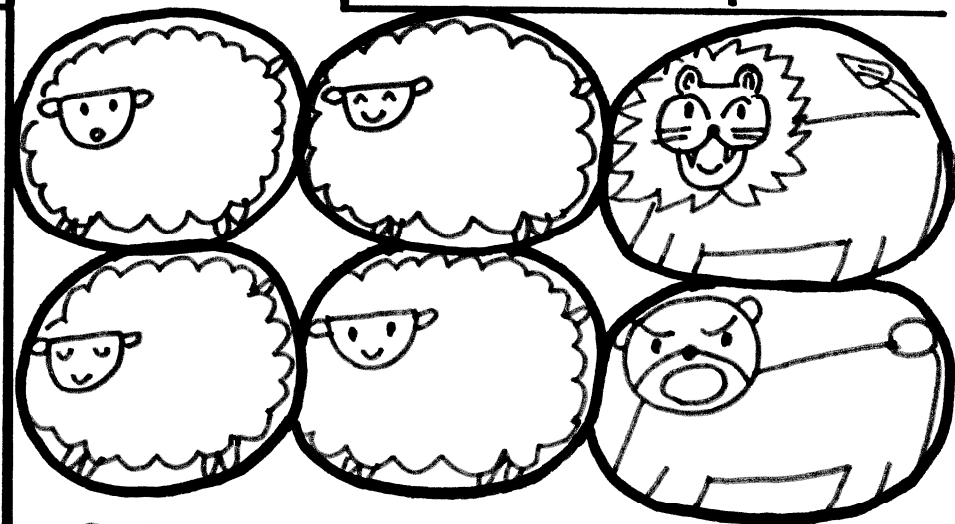
のりしろ

のりしろ

のりしろ



よいひつじかい  
ひつじのために  
いのちをささる。



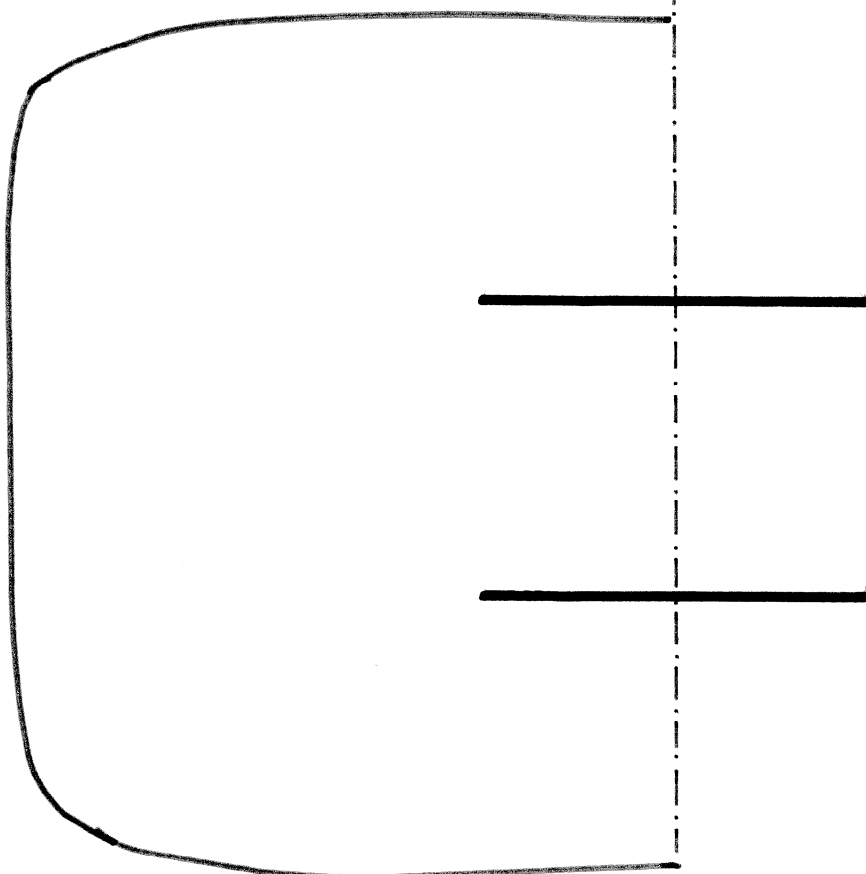
- ① Aを切り取り図のように組み立てる。
- ② Bに色をぬって切り取り。手の部分に切り込みを入れる。まるめてのり付けし、立たせる。
- ③ 羊に色をぬって切り取り。Aの中に<sup>は</sup>見張り付ける。
- ④ ライオン・くまに色をぬって切り取り。それぞれ門の左右に<sup>は</sup>見張り付ける。
- ⑤ Bのイエス様を門の入口に立たせる。



B

のりしろ

A



わたし  
の  
えい  
こう  
を  
み  
る  
し  
ん  
こ  
う

B

C



もししんじらなら

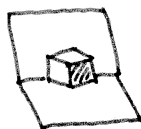
① A・B・Cに色をぬり切り取る。

② Aを中心で谷折りし、切り取り  
線の所に切り込みを入れる。



そのあと左図の二部に  
しっかり折り目をつける。

③ Aを図のように組み立てる。

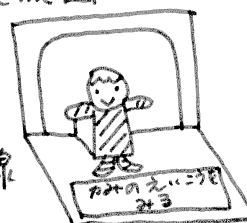


④ ③の図の斜線部分に  
Bを貼り付ける

⑤ Aを開じ、カードの表紙  
部分に図のようにCを  
貼り付ける。



—完成図—



—— 切り取り線  
- - - 谷折り線

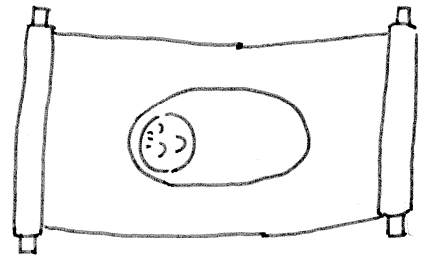




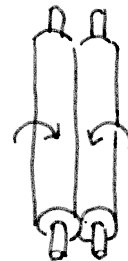
ハトリのおてりごか  
われわれのために うまれた。

A

- ① 17cm くらいの棒  
(わりは"しても良い) を2本  
用意する
- ② Aの赤ちゃん部分に色を  
ぬり、Aを切り取る
- ③ Aの両端で棒を図の  
ようにくまる。



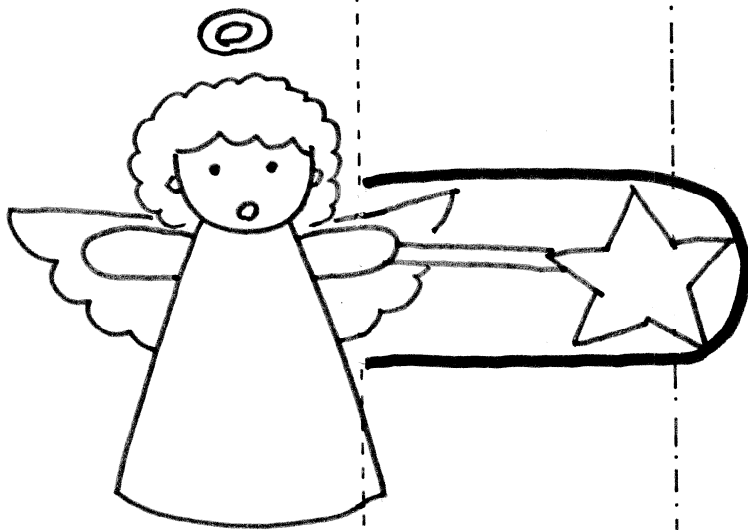
- ④ 棒のまわりに左右から  
それぞれ紙を巻きつける。



- ⑤ 巻いた紙を左右に広げ  
ながら、昔の聖書(巻物)に  
イエスキリストのこゝか  
書かれていたことを覚える。

—— 切り取り線

----- 山折り線



ザカリヤよ  
あなたのいのりが  
ききいれられたのだ



わたしはとしを  
とっています

A

① Aに色をぬって切り取り. 天使の手の部分に切り込みを入れる.

② 山折り線と谷折り線を折る.

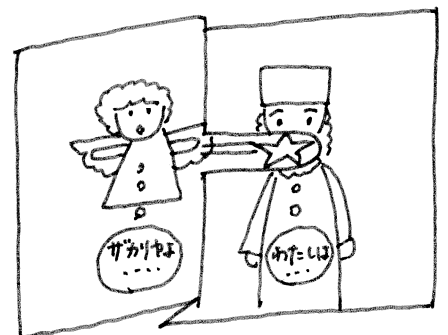
— 信じなかつたザカリヤは. 口がきけなくなったことを  
覚えましょう. —

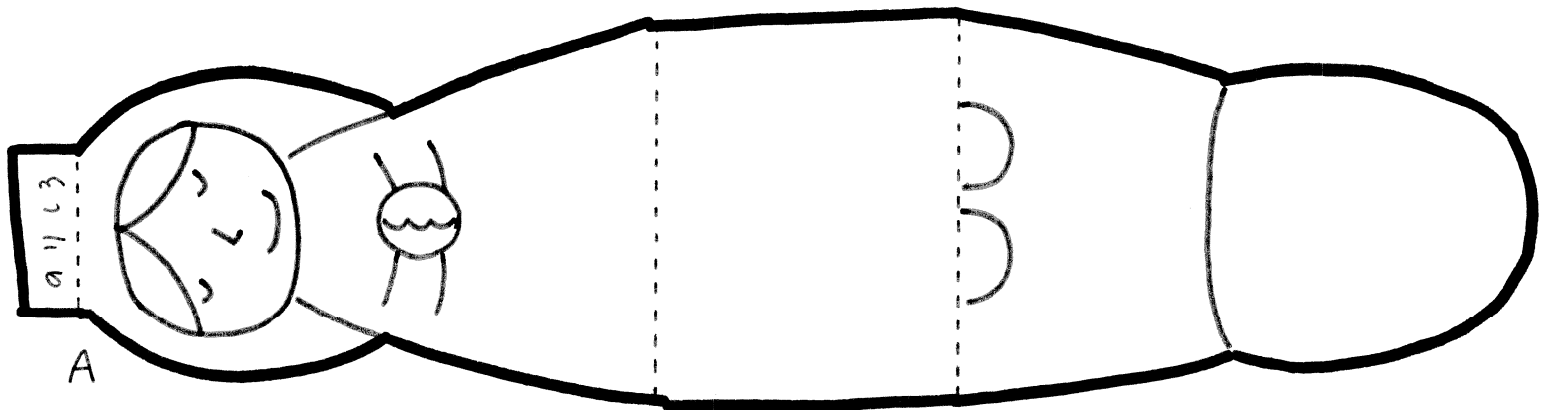
—— 切り取り線

----- 山折り線

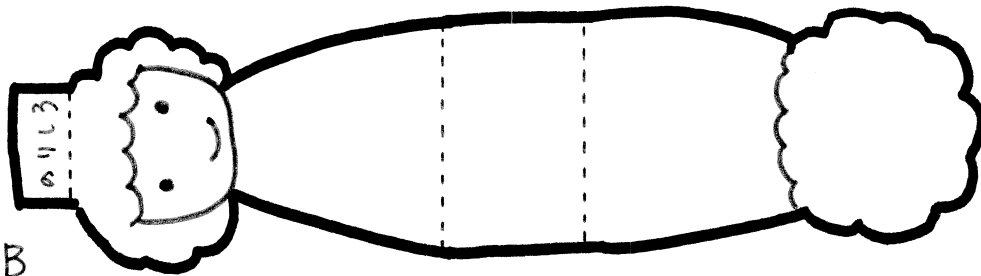
- - - - - 谷折り線

— 完成図 —

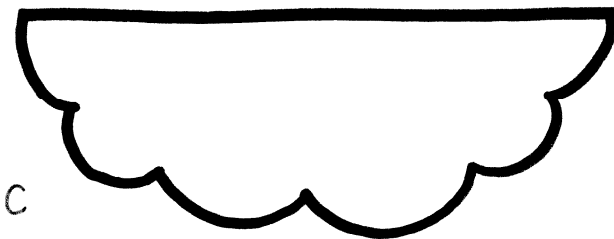




A



B



C

おことばと"おり  
このみになりますように。

D

① A・B・C・Dにそれぞれ色をぬり切り取る。

② Aを組み立てる。

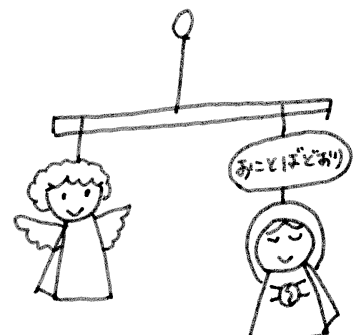
③ Bを組み立ててCを②のように貼<sup>は</sup>り付ける。

④ わりばしにひもでA・Bを吊<sup>は</sup>り下げ。  
Aを吊<sup>は</sup>り下げたひもの上部にDを貼<sup>は</sup>り付け。  
モビールをつくり、かざる。



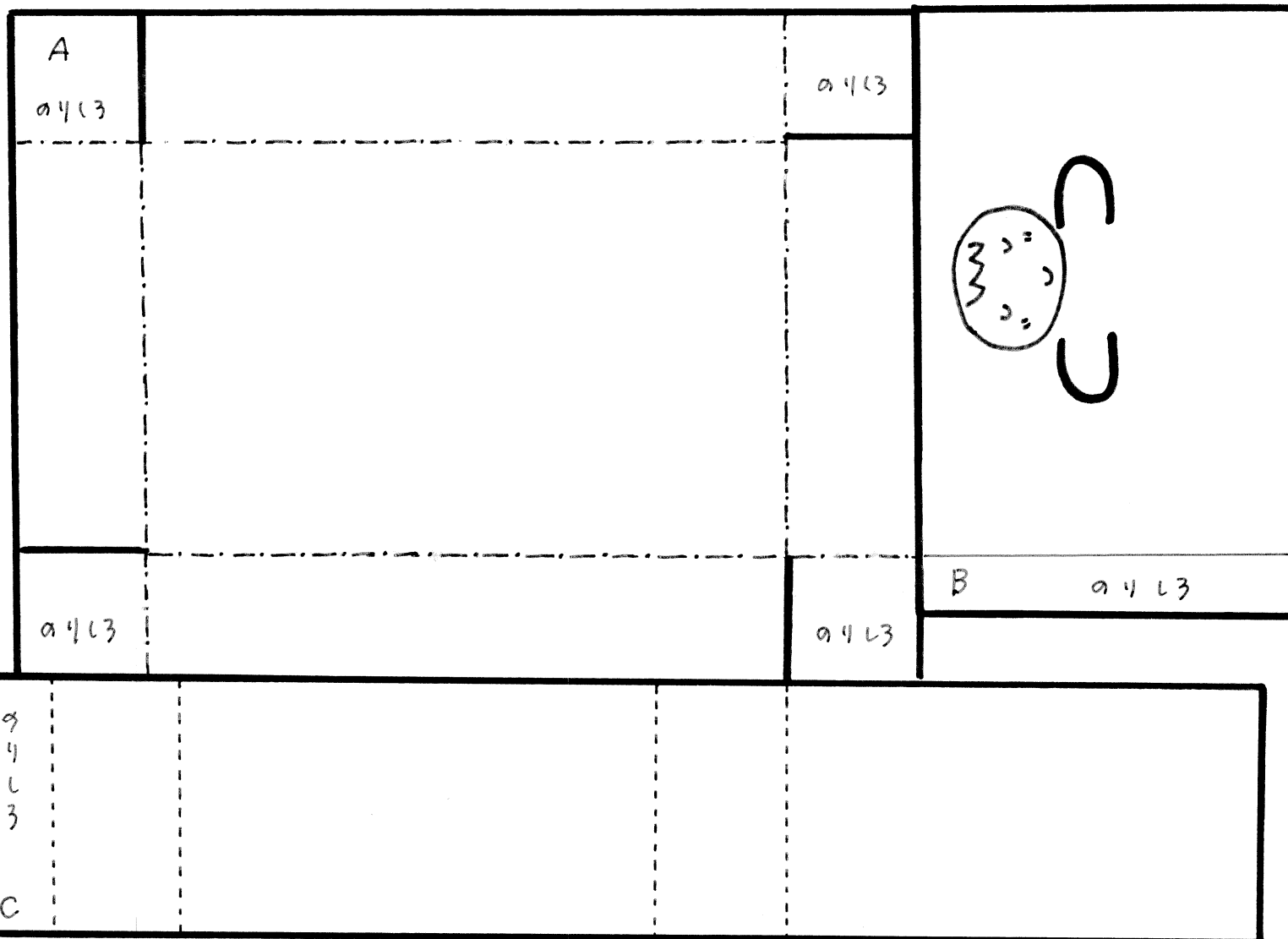
← 羽は背中部分の  
内側に貼<sup>は</sup>り付ける。

— 完成図 —



—— 切り取り線

----- 山折り線



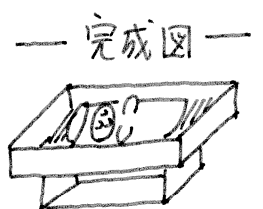
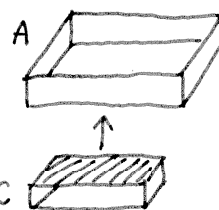
① A・B・C にそれぞれ色をぬり切り取る。

② A の谷折り線を折り、図のように組み立てる。

③ C を図のように組み立て、A の下部に貼<sup>は</sup>り付ける。

④ B の手の部分に切り込みを入れ、まるめる。

⑤ 茶色の紙や新聞紙などを細く切、てわらのようにして  
A に敷き、B のイエス様を寝かせる。



—— 完成図 ——  
———— 切り取り線  
----- 山折り線  
----- 谷折り線

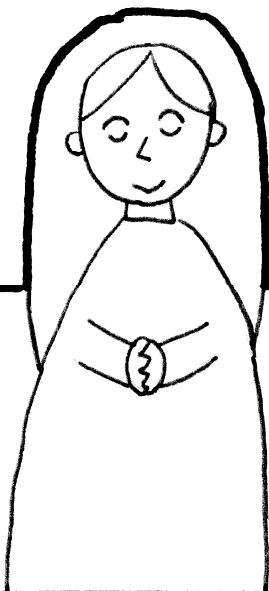
—— 来週のワークとセットになるので、なくさないようにおいておきましょう ——

きょうダビデのまちにあなたがたのために  
すくいぬしがおうまれになった。  
ルカ 2・11

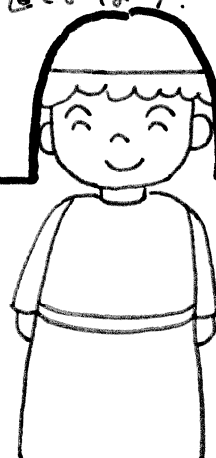
色をぬってセリ取り、12/18のイエス様のまわりに置きましょう。

—— セリ取り線  
----- 山折り線

のりしろ



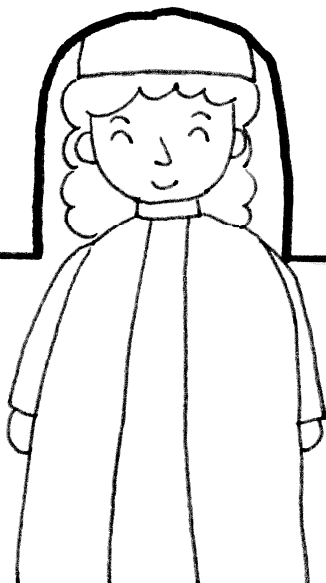
のりしろ



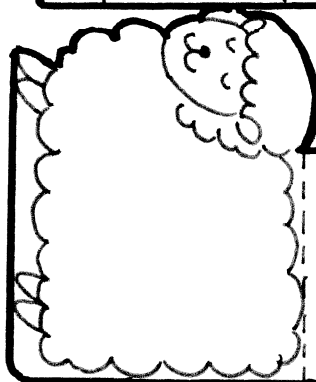
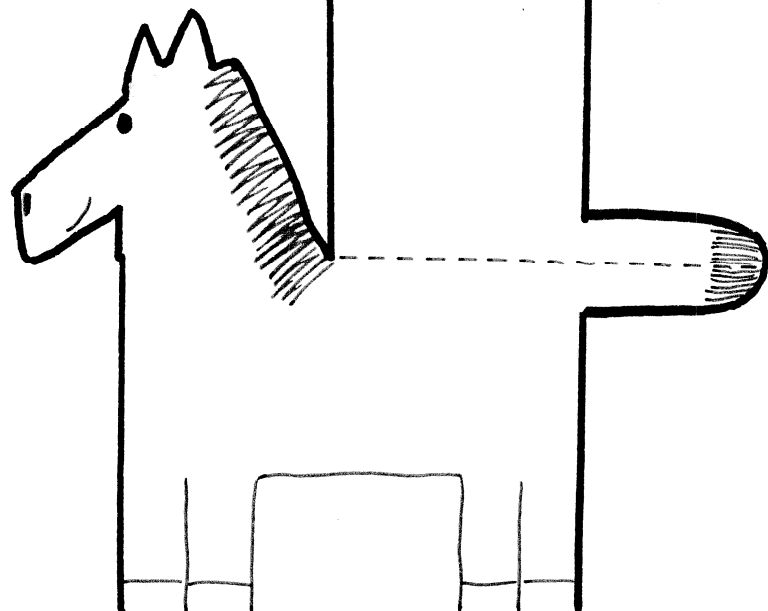
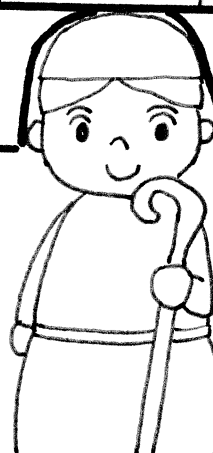
のりしろ



のりしろ



のりしろ



# ワーク A 解説 10~12月

(10/2 ~11/6 吉田、11/13 ~12/25 鎌野幸)

10/2

## ●話し方のヒント

風邪をひいて病院に行ったことがありますか。病院に行かなくても、風邪を治そうとするでしょう。ここに出てきたお父さんは、息子の病気がなかなか治らず、悩んでいました。イエス様のお働きを聞いていたお父さんは、イエス様に言います。「できますれば、…助けてください」と。お父さんは、イエス様が本当に息子の病気を治してくれると信じきれていなかったのです。イエス様は信じる者にはどんなことでもできるお方です。信じて祈るならば、必ずイエス様は、私たちにとって一番良いようにしてくださいます。

## ●ワークについて

イエス様に祈ることによって願いが聞き入れられたことを覚えましょう。

10/9

## ●話し方のヒント

お父さんやお母さんに「今、大切なことをしているから、あっちへ行っていなさい」と言われて、寂しく思ったことはありませんか。イエス様にお祈りをさせていただこうと、大人たちは子どもをイエス様のもとへ連れて行きました。その光景を見たお弟子さんたちは、「イエス様の所へ行ってはいけません」と言って止めたのです。イエス様はそんな弟子たちをお叱りになりました。イエス様にとって、子どもたちはとても大切な存在です。いつでもどんな時でも素直な心を持った子どもたちを喜んで迎えてくださいます。イエス様を信じてすばらしい祝福をいただきましょう。

## ●ワークについて

教会へ行くことは、イエス様のもとへ行くことを覚えましょう。

10/16

## ●話し方のヒント

ある日、ヤコブとヨハネがイエス様に「先生、…あなたが、栄光を受けられた時には、ひとりを右に、もうひとりを左にすわるようにしてください」と言いました。イエス様はヤコブとヨハネの言ったことに少し悲しくなって、「偉くなりたいと思う者は、仕える人となり、かしらになりたいと思う人は、すべての僕とならなければならない」と言われました。イエス様が私たちにしたい欲しいと思っていることは、イエス様がしてくださったように、お友達や周りにいる人を大切にし、愛することです。あなたはそれができますか？

## ●ワークについて

ゲームを通して、イエス様の後に従っていくことを覚えましょう。

10/23

## ●話し方のヒント

イエス様がここにて、「わたしに何をしてほしいのか」と私たちに尋ねられたら、みなさんはどんなお願いをしますか？ バルテマイと言う目の見えない人がいました。働くことができず、人にお金や食べ物をもらって生活をしていました。ある時、イエス様が来られると聞いたバルテマイは、イエス様に向かって「ダビデの子よ、わたしを憐れんでください」と叫びだしたのです。周りにいた人々はバルテマイに黙るように言いました。でも、バルテマイは叫ばずにはいらなかったのです。それは、イエス様だったら見えるようにしてくださると信じていたからです。私たちはイエス様の力をどれくらい信じていますか？「祈ったらたぶん聞いてくださるだろう」と思っていますか？ イエス様は祈りを聞いてくださると心から信じている人に、すばらしい答えを与えてくださいます。

## ●ワークについて

イエス様の奇跡を見ます。祈るならば願いが聞かれることを覚えます。

10/30

●話し方のヒント

イエス様がエルサレムの神殿でお話していた時のことです。神様の教えを守ることができず、罪を犯した女の人を、律法学者たちがイエス様のもとに連れてきて、イエス様がどうするのか試されました。この女の方は石打の死刑になるほどの罪を犯していました。ところが、イエス様はまるで、その声が聞こえなかったかのように、しゃがんで、指で地面に何かを書き始めました。イエス様の答えは、「あなたがたの中に罪のない者が、まずこの女に石を投げるがよい」でした。するとどうでしょう、誰も石を投げず、そのうちにいちばん年を取っている人から順番に帰っていきました。悪いことをしたならば、すぐにイエス様に話してごめんなさいを言いましょ。そうすると、イエス様は赦してくださいます。何よりもいつも私たちを愛して罪を赦してくださいるイエス様を信じましょ。

●ワークについて

聖書のお話を復習することによって、自分は石を投げることができるか考えてみましょ。

11/6

●話し方のヒント

イエス様が歩いていると、生れてからずっと目の見えない人が道端にすわっていました。弟子たちはイエス様に聞きました。「この人が生れつき目が見えないのは、いったいだれが罪を犯したからなんですか」。弟子たちは目が見えなくなったのは、この人のお父さんやお母さんが何か悪いことをしたからだと思っていたのです。イエス様は「あの方の目が見えないのはだれのせいでもありません。神様のすばらしさが現れるためです」と言われました。そして、イエス様は地につばきをし、どろをつくり、そのどろを目に塗って、「シロアムの池に行って洗いなさい」と言われました。言われたとおりにすると目が見えるようになったのです。そんなことがあるはずはないと思って、イエス様の言われたとおりに行わなかったら、この人の目は見えることがなかったかもしれません。イエス様は目が見えるようにしてくださただけでなく、心の中まで明るい喜びでいっぱいしてくれました。信じるなら、神様は一番良い、すばらしい生活を与えてくれます。

●ワークについて

イエス様のすばらしい御業を覚えましょ。

11/13

●話し方のヒント

皆さんは、羊飼いととはどんな仕事をする人か知っていますか？目が見えにくい羊が迷子にならないように声をかけ、もし迷子になったら一生懸命捜して見つけます。また、弱い羊の眠る囲いの中に、恐ろしい動物が入らないように、門で守り、命をかけて戦うのです。イエス様は羊飼いのように、いろんなことがわからなくて失敗してしまう羊のような私たちを助け、また弱くて悪魔に負けて罪を犯してしまう私たちを助け救うために、命をかけて十字架にかかってくださいました。よい羊飼いであるイエス様に感謝ましょ。

●ワークについて

羊とは私たちのことです。イエス様が私たちを守ってくださることを覚えましょ。

11/20

●話し方のヒント

皆さんは、死んだ人が生き返るなんて、信じることができますか？マルタとマリヤの姉妹は、病気の弟ラザロが死なないように、イエス様を呼びました。けれどもイエス様が来られたのは、ラザロが死んで4日もたってからでした。悲しむマルタに、イエス様は「もし信じるなら神の栄光を見る」とおっしゃり、死んで墓に入れられていたラザロをよみがえらせてくださいました。「イエス様は本当に助けてくださるのだろうか」と疑ってしまいそうな時も、イエス様を信じ続けるなら、イエス様は神様にしかできないすばらしいことを、私たちのためにしてくださいます。

●ワークについて

イエス様を信じる人が、神の栄光（すばらしさ）を見ることを覚えましょ。

11/27

●話し方のヒント

今から約2700年前、まことの神様を忘れて偽物の神様を拝んだために、イスラエルの人々は戦争に負けて外国に連れて行かれました。暗い気持ちの人々に、イザヤという人が神様の言葉を伝えました。「ひとりの男の子が生まれます。その方は、困った時に教えてくださる方、人間にはできないすばらしいことをなさる方、父親のように愛してくださる方、私たちの心に安心を与える救い主です」。人々はこの言葉を聞いてとても慰められました。そして700年後、この言葉通りの救い主として、イエス様はお生まれになりました。イエス様を信じて、本当の安心をいただきます。

●ワークについて

イザヤが700年も前に預言した通りの救い主として、イエス様はお生まれになったことを覚えましょ。

12/4

## ●話し方のヒント

イスラエルの国に、心から神様を信じている、ザカリヤとエリサベツという夫婦がいました。二人はずっと「赤ちゃんを与えてください」と祈っていましたが、赤ちゃんは生まれず、とうとうおじいさん、おばあさんになってしまいました。ある日ザカリヤが、神様のための特別な仕事をするために神殿に入ると、み使いが現れ、「あなたの奥さんは男の子を産みます」と告げました。おじいさんのザカリヤは、「そんなこと、あるはずがない」と信じないでいると、み使いはザカリヤの口をきけなくしました。神様は必ず祈りに答えてくださり、神様が言われたことはその通りになります。ザカリヤのように信じない者ではなく、信じる者になりましょう。

## ●ワークについて

信じなかったザカリヤの口がきけなくなったことを覚えましょう。

12/11

## ●話し方のヒント

皆さんは、イエス様のお母さんが、どんな人か知っていますか？ナザレという貧しい町に住む、まだ10代の若い女の子でした。ヨセフという男の人と結婚の約束をしていましたが、まだ結婚はしていませんでした。そのマリヤの所に、み使いが現れ、「あなたのお腹には、神様の子どもがいます」と、告げたのです。結婚していないのにお腹に子どもがいることがわかれば、ヨセフとは結婚できず、人々から殺されてしまうかもしれません。でもマリヤは、神様が必ず守ってくださると信じて、「神様の言葉どおりにしてください」と言い、そしてイエス様が生まれました。マリヤのように神様を信じきる人になりたいですね。

## ●ワークについて

マリヤが「神様の言葉どおりにしてください」と言ったことを覚えましょう。

12/18

## ●話し方のヒント

マリヤのお腹が大きくなったころ、イスラエルの国の人々の数を正しく調べるために、イスラエルの国の大勢の人が、生まれた故郷に帰って届けを出すことになりました。マリヤもロバに乗せてもらって、ヨセフと一緒に、ヨセフの故郷ベツレヘムへ向かいました。やっとベツレヘムに着いた時、赤ちゃんが生まれそうになりました。宿を探しましたが、故郷に帰ってきている人々でいっぱいだったのと、宿の人が、生まれてくる赤ちゃんが救い主だと知らなかったことで、マリヤとヨセフは宿に泊めてもらえませんでした。そしてやっと入れてもらえた家畜小屋で、マリヤはイエス様を産みました。私たちは、イエス様が救い主だと知っています。「イエス様、私の所に、私の心の中に来てください」と、喜んでお迎えしましょう。

## ●ワークについて

飼い葉おけの中に寝ておられるイエス様を作りましょう。

12/25

## ●話し方のヒント

イエス様がお生まれになった夜、羊飼いたちが野原で羊を見守っていると、突然空にたくさんのみ使いが現れました。そして「救い主がお生まれになりました。飼い葉おけに寝ている赤ちゃんが救い主です」と告げました。羊飼いたちは、み使いの言葉を信じて出かけ、イエス様にお会いし、礼拝しました。そして、「自分たちを守り助けてくださる救い主にお会いできた！」と、大喜びし、イエス様のお誕生を多くの人に伝えました。イエス様は、今私たちの目には見えませんが、イエス様を信じる私たちと出会ってくださり、私たちを罪から、たくさんの危険から、守り助けてくださいます。イエス様がお生まれくださったことを、心から喜びましょう。

## ●ワークについて

イエス様をみんなで礼拝したことを覚えましょう。